

平成 29 年度 第 6 回理事会議事録

- 1 日 時 平成 30 年 1 月 9 日 (火) 午後 3 時 00 分～4 時 20 分
- 2 場 所 協会事務室
- 3 出席者 理事 13 名、監事 2 名 欠席 荒井理事
- 4 進 行 議長 (会長)
- 5 協議事項

(1) 平成 30 年度当初予算案について

事務局長から原案の説明があり、一般会計では収入が病床数減による影響があるほかはほぼ前年どおりの収入が見込まれ、支出は再来年に消費税増税を控えていることから、これまで以上に経常経費の削減に取り組むことが説明された。輪番調整事業特別会計では、30 年度が新たな実施要綱による 3 年目に当たることから昨年度と本年度の上半期実績を基に推計したことが説明された。

天保理事から、一般会計ではここ数年単年度赤字の予算が続いているがどう対応していくのかとの質問があり、会長から当面は比較的豊富にある繰越金で穴埋めしていくが、いずれ具体的な対策を考えざるをえないだろうと回答があった。

(2) 各種委員の推薦について

相模原市精神医療審査会委員

協議の結果、引き続き増田理事と坂井理事を推薦することとなった。

横浜市こころの健康相談センター嘱託医師

協議の結果、引き続き西井監事、増田理事及び畑理事を推薦することとなった。

横浜市精神医療審査会

協議の結果、引き続き山口副会長、坂井理事及び荒井理事を推薦することとなった。ただし、本日欠席の荒井理事には後日、事務局から了解を取ることもとなった。

川崎市精神医療審査会

協議の結果、引き続き西井監事ほか 3 名の理事と栗田病院の寺崎会員の計 5 名を推薦することとなった。ただし、寺崎会員については、後日事務局から了解を取ることもとなった。

川崎市精神保健福祉審議会

協議の結果、引き続き武田理事を推薦することとなった。

(3) その他

措置入院に係る指定医 2 名の措置診察の現行の体制について、意見交換があった。

6 報告事項

(1) 日精協報告について

大野副会長から 12 月 7 日の常務理事会について報告があった。

①外国人技能実習生 (介護) 受入れスケジュール等について

②四病協消費税に関する声明について

③日病協・代表者会議について

(2) 会員病院の届出事項変更について

1 病院 1 件の変更届が報告された。

(3) 事務長会・看護部長会・薬剤部長会について

各部会の研修会、施設見学会の結果報告と今後の予定が、それぞれの担当理事からあった。

(4) 精神科看護職員研修及び栄養課職員研修について

精神科看護職員研修、栄養課研修及び看護技術研修について、それぞれ事務局長、坂井理事及び武田理事から報告があった。

(5) 第 5 回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

(6) その他

一般社団法人神奈川県精神科病院協会

- ・来年度の定期総会、代表者院長会議等の予定について会長から話があった。また、代表者院長会議や研修会の講演議題について希望するテーマあれば、事務局へ連絡するよう話があった。
- ・天保理事から専門医制度をめぐる日本専門医機構や精神神経学会の動きについて報告があった。
- ・事務局長から日本精神科病院協会の「災害対応担当者」の調査について報告があった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後 4 時 20 分理事会の閉会を告げた。